

愛媛県看護協会主催

平成30年度職能交流集会

地域包括ケア時代における『看取り』について考える

ICTを活用した多職種連携による 在宅での看取り

日時;平成30年6月3日(日) 13:40開始

場所;愛媛看護研修センター 2階 大研修室



松本クリニック 院長 松本 毅

本日の内容

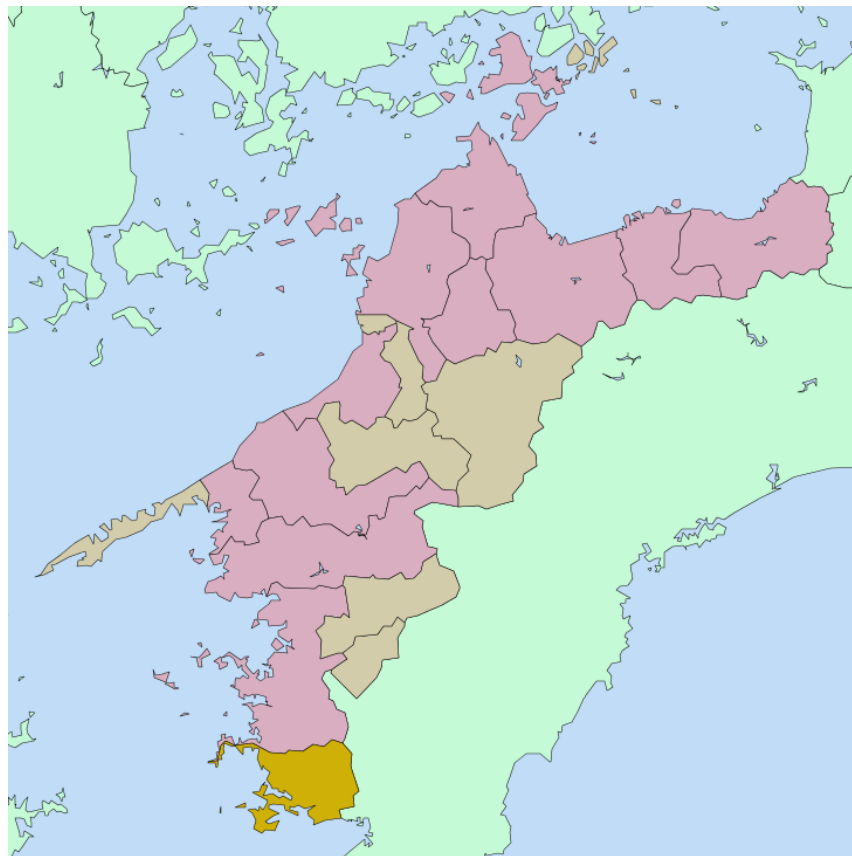
1. 愛南町の現状と当院の訪問診療
2. なーしくん医療介護ネットワーク
(愛南地域医療介護情報ネットワーク)
3. 症例
4. 情報共有システムが連携にもたらす効果

愛媛県南宇和郡愛南町

人口 ; 21,756人

高齢化率 ; 41.5%

愛南町広報誌2018年5月号より



愛南町の医療介護施設

病院;3 診療所;14 歯科医院;11

訪問看護ステーション;4

居宅介護支援;10 小規模多機能;2

訪問介護;10 訪問入浴;1

通所介護;10 通所リハビリ;1

認知症対応通所介護;1 グループホーム;6

特別養護老人ホーム;4 老人保健施設;1

小規模ながら必要最小限そろったコンパクトな町

当院の紹介

医師 2名

看護師 7名（訪問診療に同行2名）

24時間対応

	月	火	水	木	金	土
午前	外来	外来	外来	診療 支援	外来	外来
午後	訪問	訪問	訪問		訪問	

午後から在宅に

当院の在宅での看取り

平成22年6月～平成30年5月において集計

在宅総数	158名 (現在継続中の患者35名を除く)
ご自宅での看取り	63名 (全体の 40%)
入院後1カ月以内の死亡	34名
<hr/>	
自宅看取り＋入院後死亡	97名 (全体の 61%)

悪性腫瘍末期状態での看取り

平成22年6月～平成30年5月において集計

悪性腫瘍末期状態	37名
自宅での看取り	24名（全体の65%）
入院後死亡	10名
入院	3名

丁寧に希望を聞き、柔軟に対応

なーしくん医療介護ネットワーク

(愛南地域医療介護情報ネットワーク)

主体;南宇和郡医師会

目的;在宅で療養している利用者から、
ご承諾いただいた場合に、
療養生活にたずさわる医療介護従事者が、
インターネットを介して情報を共有することで、
安心して療養生活を送ることができる



開始;平成29年3月

参加職種

医師（診療所、病院）

歯科医師、歯科衛生士

看護師

理学療法士

ケアマネ（介護支援専門員）

薬剤師

インターネットを介してリアルタイムに 連絡事項が共有できるシステム



業務連絡を連絡帳に書き込んでいく



在宅医

血圧高めです。
本日から血圧の
薬を処方しました
血圧の変化に
注意して下さい



リハビリ

歩行不安定です
トイレの時は
必ず介助して下さい



薬剤師

お薬が飲めて
いないようです
訪問時に内服
チェックしてください

背中に褥瘡が
できていました
フィルムを貼って
処置しています



訪問看護師

○月◇日から
胃瘻造設のため
入院が決まりました



ケアマネ

情報共有システムによる多職種連携

- ・コミュニケーションがとりやすくなる
- ・事業所や個人の考え方や理念を知ることができる
- ・できること、できないことがわかる
- ・他職種の専門的な知識が学べる
- ・仕事の励みになる

結語

- ・ICTを活用した患者情報共有システムは末期癌患者の看取りに有用であった。
- ・患者のためだけでなく、関わった医療介護従事者の連携にも有用であることがわかった。